

体罰根絶のためのチェックシート（スポーツ少年団指導者用）

体罰を根絶するためには、自分自身の体罰に関する認識を再認識したり、児童生徒への指導の在り方を見直したりすることが重要です。年に数回チェックシートを活用し、行動を振り返ってみましょう。

No.	チェック項目	自己評価			
		4	3	2	1
1	問題が起きた時に、頭ごなしに怒ることなく、児童生徒の言い分をじっくり聴いている。				
2	冷静に指導することを心がけ、児童生徒の心を傷つけることがないように、言動には気を配っている。				
3	児童生徒が反抗的な態度をとることや指導に従わない場合等、児童生徒のせいだけではなく、自分の指導の在り方を振り返ることができる。				
4	児童生徒の問題を一人で抱え込むことなく、他の指導者や保護者等と連携して指導するようにしている。				
5	一部の児童生徒の問題に、団体のメンバー等に連帯責任をとらせたりする指導方法は、ふさわしくないと思う。				
6	結果を出すことは大切だが、児童生徒の発達段階を踏まえ、活動の意義を含めて指導している。				
7	体罰を行っている他の指導者を目撃したら、すぐに止めることができる。				
8	障がいのある児童生徒への効果的な指導について、理解しようと心がけている。				
9	毅然とした態度で指導するのと体罰は、別物だと思っている。				
10	体罰を容認する風潮に対して、「No」と言える。				
11	画一的な指導ではなく、児童生徒の個々に応じた指導を心がけている。				
12	児童生徒の問題行動を指導者へのサインとして受け止め、誠意をもって相談できる。				
13	児童生徒を集団の前で叱責することなく、時間を空けて指導するようにしている。				

【自己評価】 4：よく当てはまる 3：ある程度当てはまる

2：あまり当てはまらない 1：まったく当てはまらない

※ 1や2が多い場合、体罰を起こす可能性があるため、気をつける必要があります。